



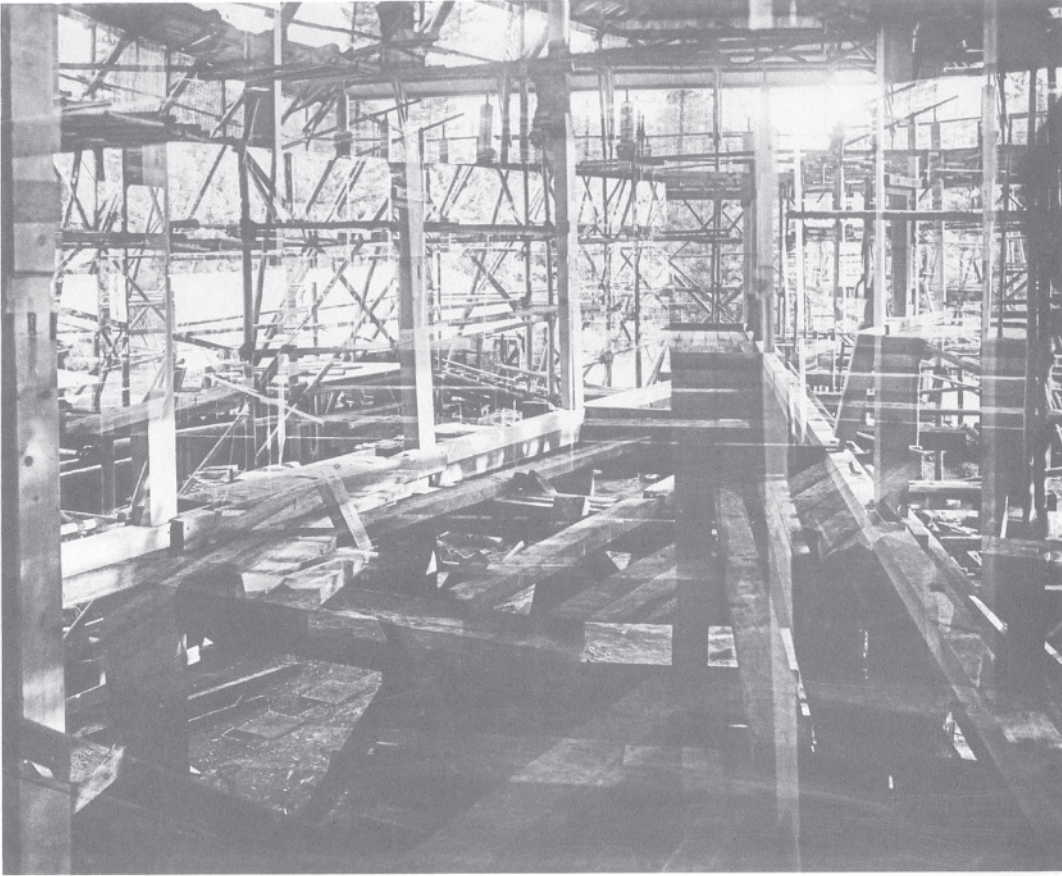
191 大正修理時の束柱及び台輪の組立状況

「第三八号甲 宝庫大盤木及大椽建方出来現況」。再び束柱を立て、頭貫を組んで、梁間方向の台輪を据え、桁行の台輪を組んでいるところ。



192 大正修理時の土台及び内部柱の組立状況 1

「第三八号乙 宝庫土台及柱并入口幣軸廻建方現況」。大正修理時に内部柱として入れた柱の背面がよく見え、校木1本1本を引独鉋で引こうとしていた様子が見える。



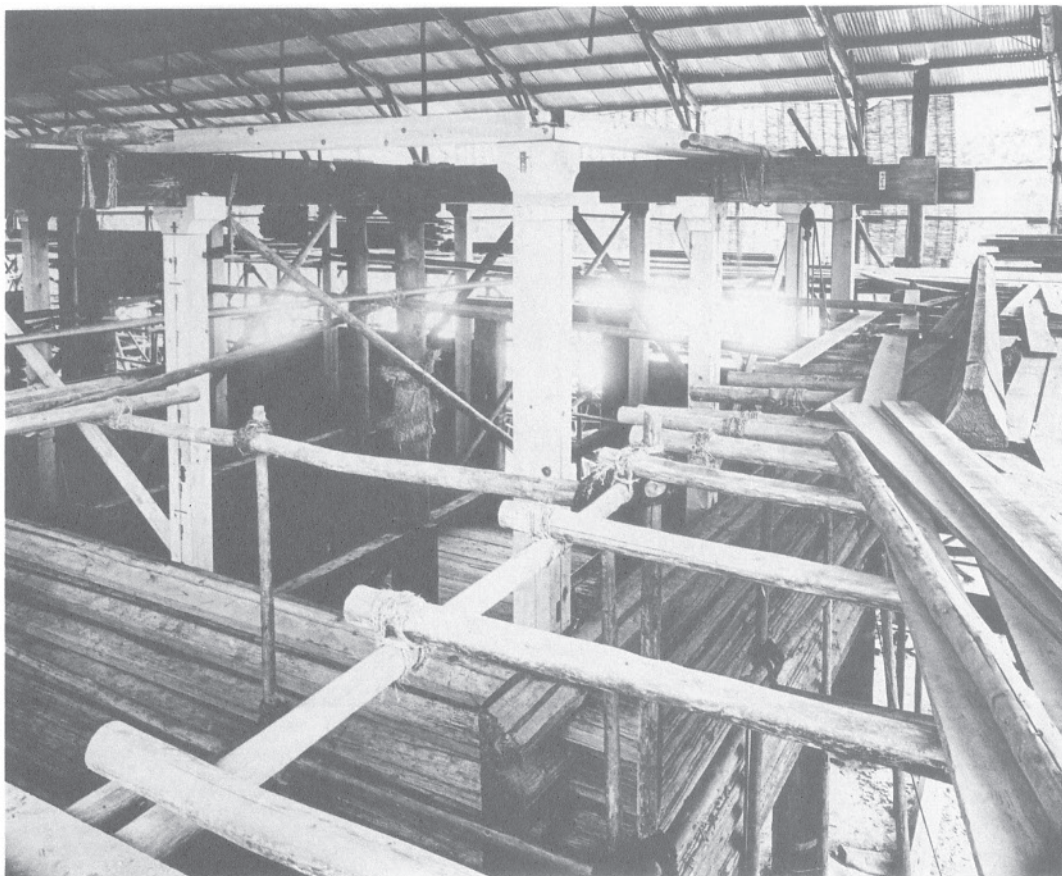
193 大正修理時の土台及び内部柱の組立状況 2

「第三九号甲 宝庫新規土台側通新規檜柱并在来入口廻方現況」。多重露光により画像がだぶっている。



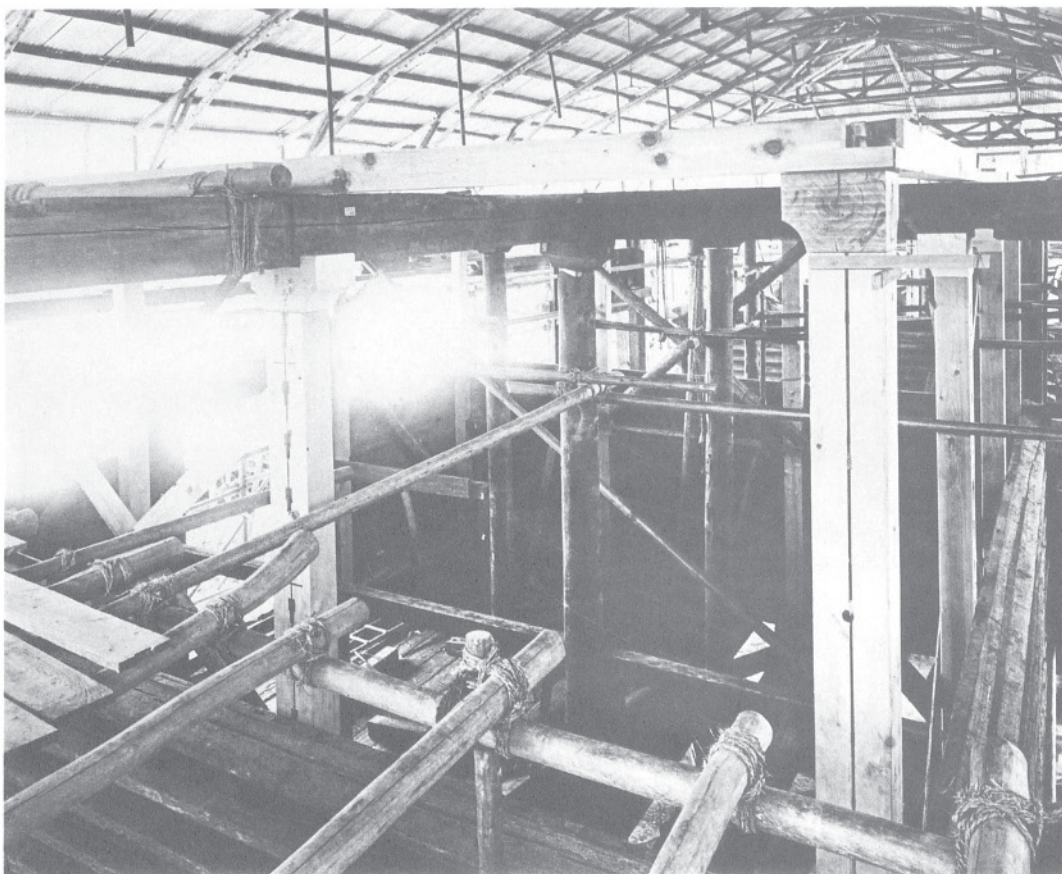
194 大正修理時の土台及び内部柱の組立状況 3

「第三九号乙 宝庫新規土台側通新規檜柱并在来入口廻建方現況」。床に散乱しているのは床板材と思われる。



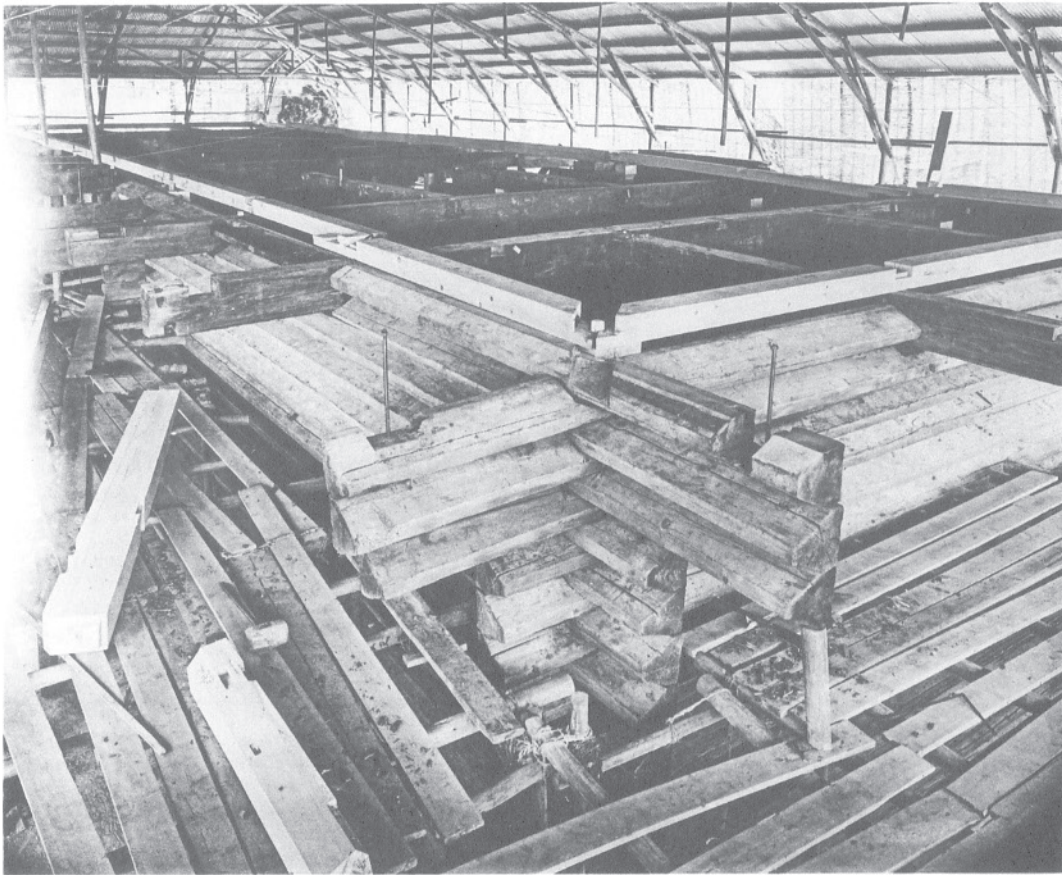
195 大正修理時の軸組組立及び校木組立状況

「第四〇号 宝庫二階持取付並ニ校木組立中ノ現況（南倉中倉ノ分）」。内部に立てた新しい柱に大斗を載せ、大梁を組み、敷桁を載せ、軸組を構成する。校木は後から組み立てられたようだ。



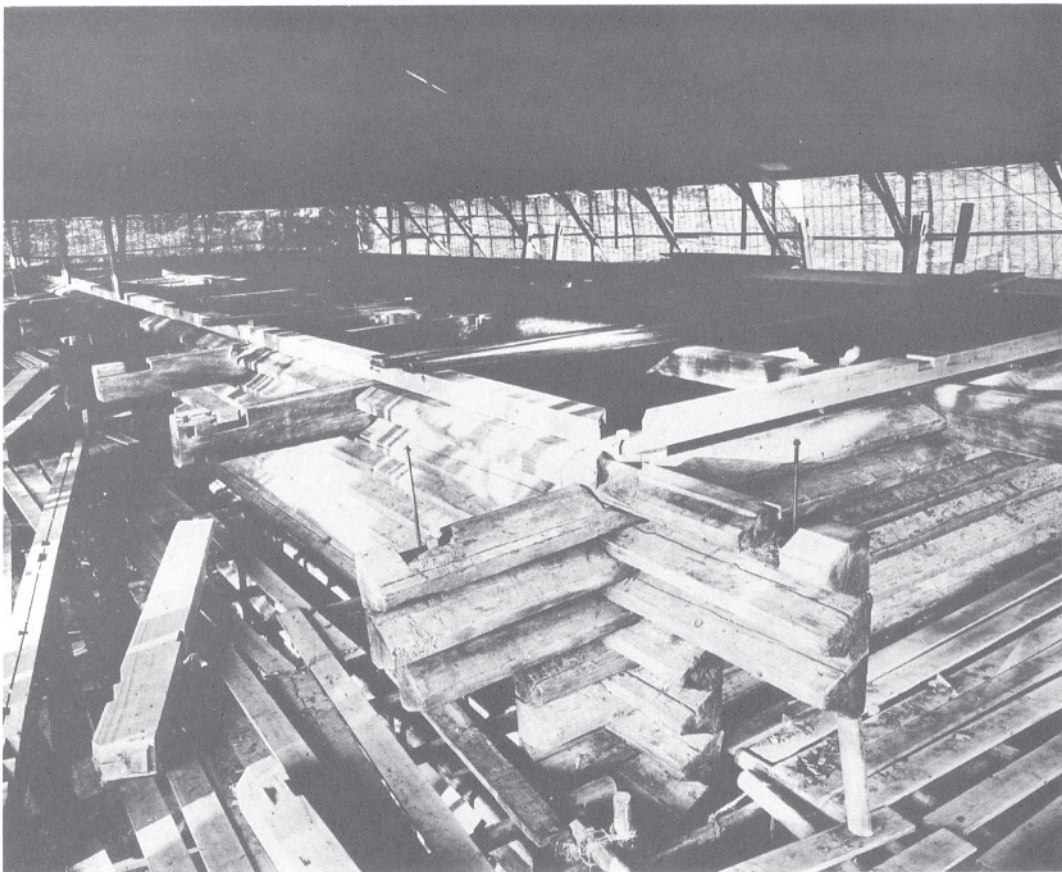
196 大正修理時の軸組組立状況

「第四一号 宝庫二階持取付並ニ校木組立中ノ現況（北倉之分）」。北倉部分の軸組組立状況。



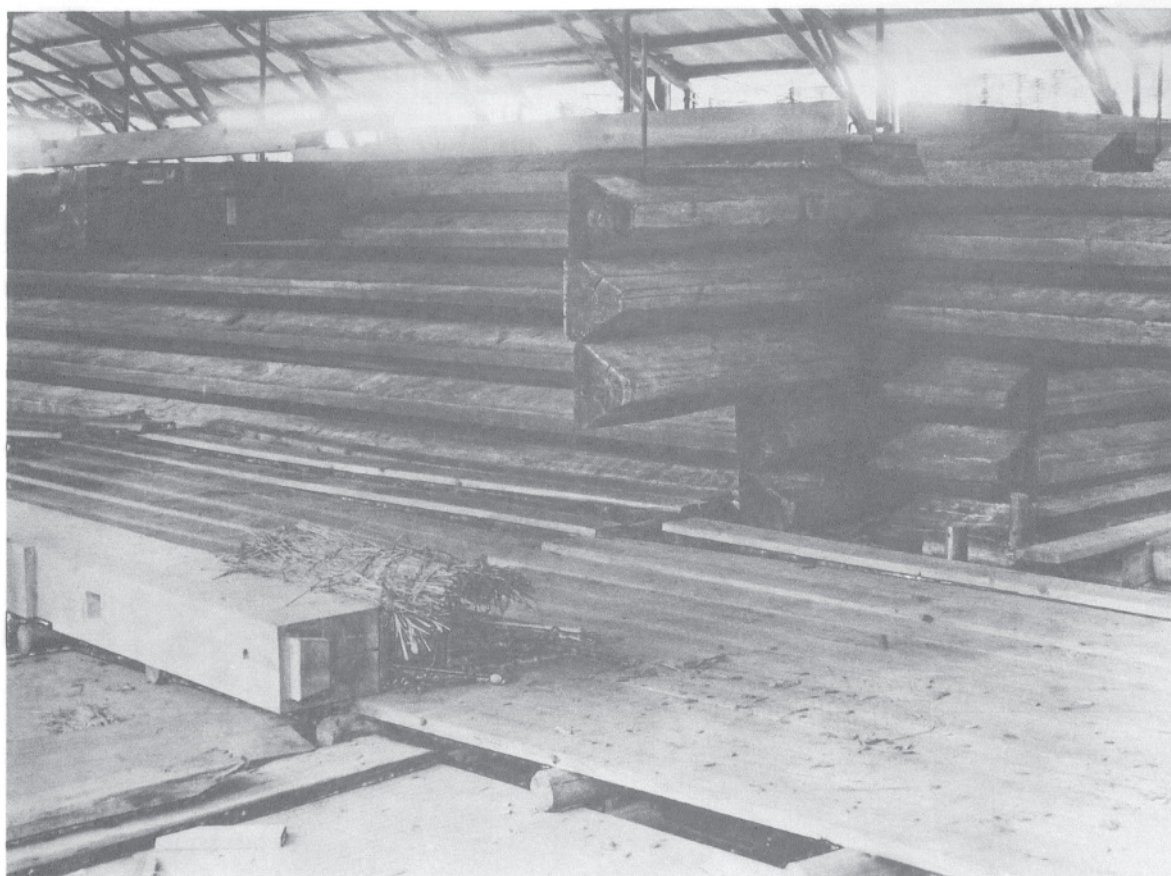
197 大正修理時の校木の組立完了1

「第四二号甲 宝庫校木組立方出来新規土居桁置渡現況」。校木が上まで組み上がった状況。妻側は、最上段の校木と敷桁の間に隙間があるが、その間は角材で塞がれている。



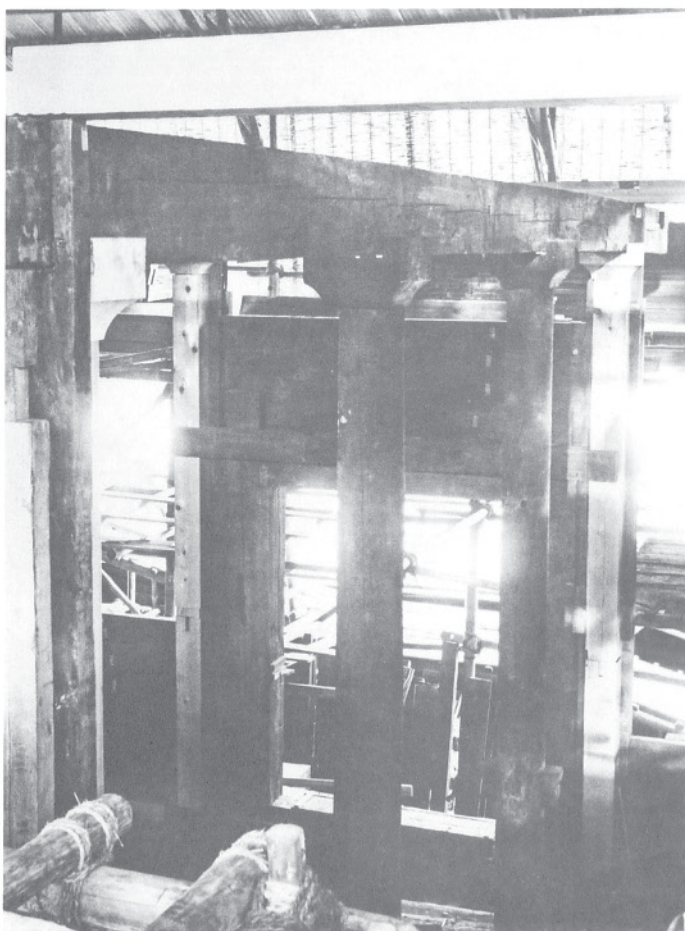
198 大正修理時の校木の組立完了2

「第四二号乙 宝庫校木組立方出来新規土居桁置渡現況」。図版写真197と同じアングルで露出が異なる写真。



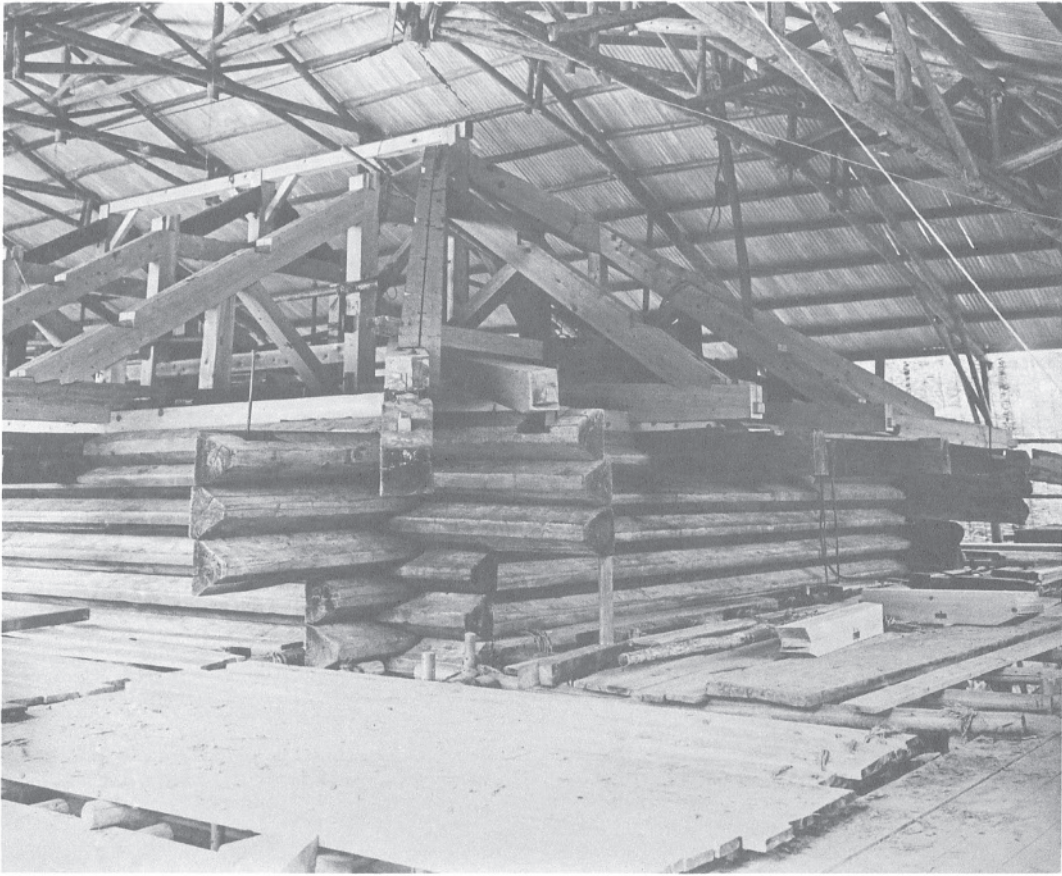
199 大正修理時の三段校木組手修理の状況

「第四三号 宝庫北倉東北隅校木組手折損復旧出来現況」。校木の上から3段分はそれより下の校木より1mほど長く作られており、丸桁を支えていたため仕口の位置で折れていたらしく、その修理が行なわれた。



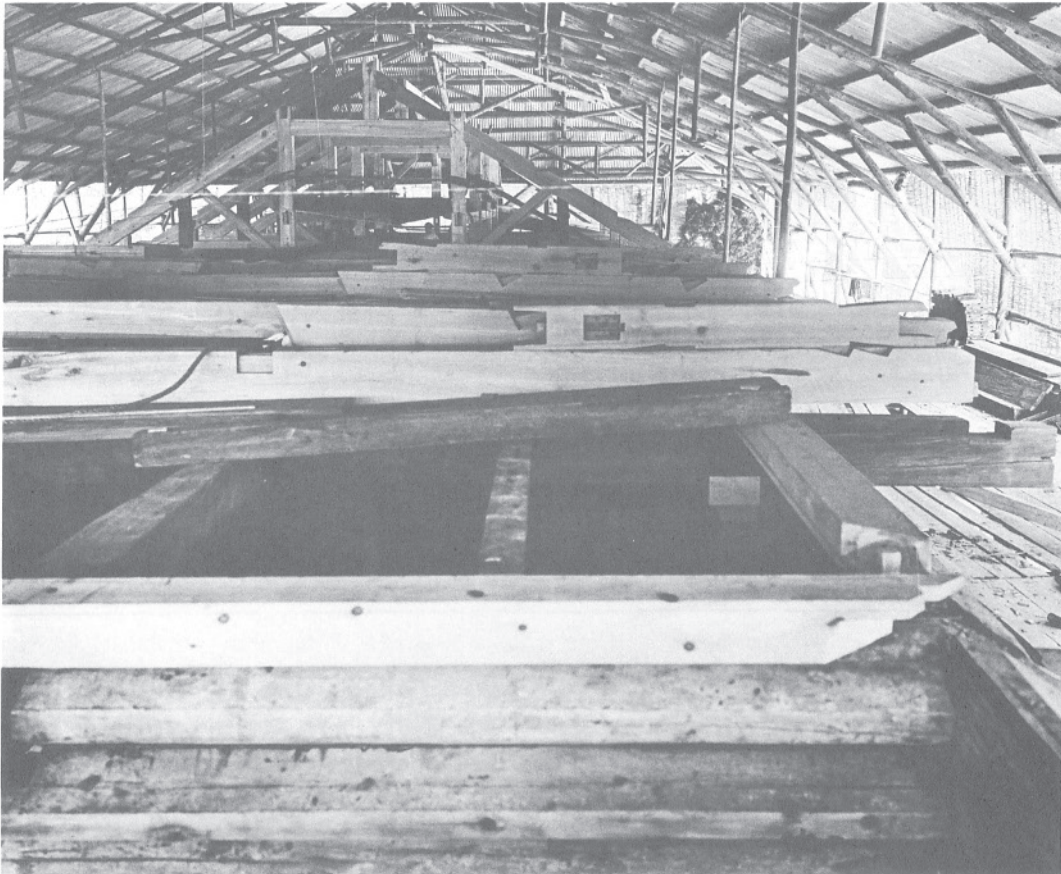
200 大正修理時の中倉内部入口の組立状況

「第四四号 宝庫西側ヨリ中倉内部入口廻ヲ見タル現況」。大梁が四天柱と校木際の内部柱で支えられる様子を見ることができる。



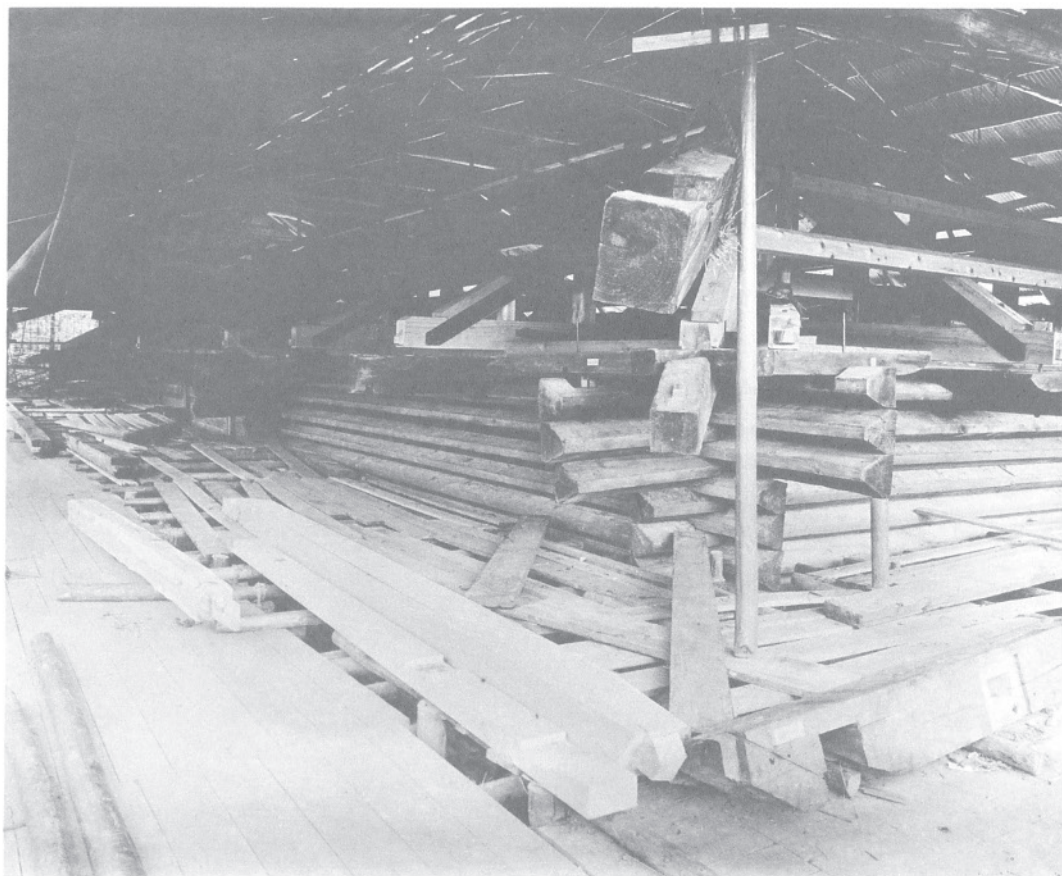
201 大正修理時の小屋組トラス組立状況

「第四五号 宝庫小屋新梁架渡及合掌組立現況」。小屋組のクイーンポストトラスを組み立てているところ。小屋組は、それまでの和小屋が大正修理によりトラス構造に変更された。



202 大正修理時の小屋組組立の準備

「第四六号 宝庫東北隅ヨリ小屋廻組立現況」。題名には「東北隅ヨリ」とあるが、東南隅から写したようである。反対側からトラスが組み立てられている様子が分かる。



203 大正修理時の隅木据え付け状況

「第四七号 宝庫南西隅ヨリ小屋組及母屋桁置渡出来現況」。西南の隅木を取り付けているところ。丸桁は据えられていないが、母屋は据わっている。



204 大正修理時の木負取り付け状況

「第四八号 宝庫南倉巽隅木及南流地垂木取付現況」。東南の隅木を取り付け、地垂木のうち力垂木を流し、木負を取り付けたところ。木負は垂木の欠きをすべて一旦取ってしまい、面戸状に別材として組み立てられた。